

マダコ

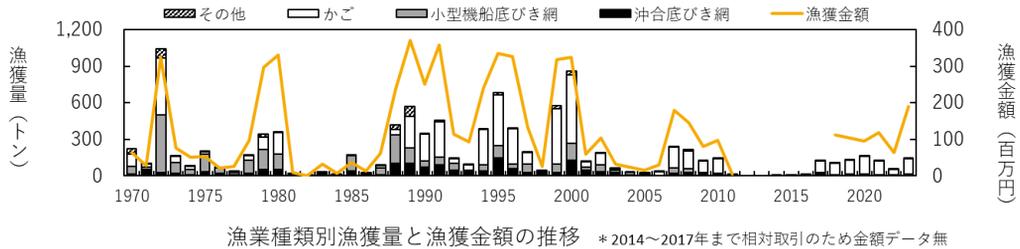
1 生態

- ・青森県以南の日本沿岸に分布します。本県沿岸では、茨城県沿岸で発生したものが北上流で輸送されて、6～8月に出現します。また、仙台湾周辺で生育したものが、10～1月頃に南下して来遊します。
- ・寿命は1～2年、メスの産卵は一生に1回で、卵がふ化した後に死亡します。
- ・肉食性で、浮遊期の稚仔はアミ類などの浮遊性甲殻類を食べますが、底生生活移行後はエビ、カニなどの甲殻類や貝類を好む他、魚類も食べます。



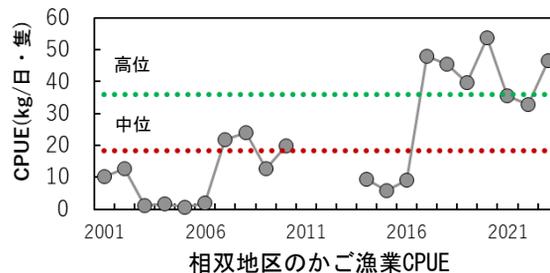
2 漁業に関する情報

- ・主にかごで秋～冬期に漁獲されています。
- ・2023年（令和5年）の漁獲量は148トン、金額は189百万円でした。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛により出荷制限で水揚げはありませんでしたが、2014年（平成26年）10月から再開されています。



3 資源の状態

- ・相双地区のかご漁業CPUEを指標値として判断すると、2023年は46.5kg/隻・日で資源水準の高中位境界(36.0kg/隻・日)を上回り、資源水準は高位、2019-2023年における資源動向は横ばいと評価しました。
- ・指標値について震災後は漁具数制限など操業の変化に留意が必要ですが、近年は夏頃まで好漁が続くなど、本県漁場への加入が良好であると考えられます。



4 資源管理の取組み

- ・自主規制として小型個体の再放流や漁具数制限（かご漁業）が地区単位で行われています。